

西暦2026年6月1日

## 切除不能肝細胞癌に対してニボルマブとイピリムマブの併用治療を受けた患者さんへ

【切除不能肝細胞癌におけるニボルマブ・イピリムマブ療法の有効性、安全性を検討する多施設共同医師主導前向き臨床観察研究へのご協力をお願い】

### 1. 研究の対象

2026年3月1日～2028年9月30日にニボルマブとイピリムマブの併用治療を受けた患者さん

### 2. 研究目的・方法・期間

上記の期間に当院にてニボルマブとイピリムマブの併用治療を受けた患者さんを対象とし、【有効性と安全性】を調べることを主な目的としております。【通常の診療で得られたデータのみを使用して解析を】行います。

研究の結果、特許権などの知的財産権が生じる可能性もございますが、データを使用させていただいた患者さんには帰属しません。

研究期間：2026年3月1日～2029年3月31日

この研究は、松山赤十字病院が申請した医療倫理委員会にて審査及び承認され、病院長の許可を受けて実施するものです。また、本研究は特定の企業・団体等から支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧することができますので申し出ください。

また、研究に関するご質問や相談等ありましたらお問合せください。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

血液や画像検査などの検査データ、診療記録等を対象とします。

医療サービスの提供時に取得した試料・情報及び過去に研究を目的に取得した試料・情報を利用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、試料・情報を使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

### 4. 外部への試料・情報の提供

試料・情報を、試料・情報の収集・提供を行う機関に提供する場合、他機関の管理するデータベース等へのデータ登録をさせていただきます。

本研究は多機関共同研究であり、各機関で収集された情報は電子媒体で、武蔵野赤十字病院へ送付されます。武蔵野赤十字病院は各機関から集まった情報を統合します。統合された情報は解析用のデータとして、統計学的に分析されます。

## 5. 個人情報の取扱い

利用するデータは、個人が特定されないよう匿名化（非個人情報化）又は符号や番号を付することをを行い、個人情報に関連する事項全てを保護します。

この研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。

ご本人等からの求めに応じて、保有する個人情報を開示します。情報の開示を希望される方はご連絡ください。

## 6. 研究組織

研究代表機関(試料・情報の管理)	武蔵野赤十字病院
研究代表者	消化器内科・部長・土谷薫
研究責任者	消化器内科・部長・土谷薫
研究分担者・協力者	消化器内科・副部長・安井豊

### 共同研究機関等

機関名/機関長名	研究責任者の部署・職名・氏名	役割
松山赤十字病院	肝胆膵内科 副部長 越智裕紀	データ集積と解析

## 7. お問い合わせ先

今回の試料・情報の利用について同意をいただけない場合には、いつでも構いませんので下記までご連絡ください。その場合でも今後の治療などに影響することはございません。

日本赤十字社 松山赤十字病院 肝胆膵内科 職名副部長  
研究責任者：越智裕紀  
TEL：089-924-1111(代) FAX：089-922-6892(代)